

## 地盤改良技術の実証実験に国有財産を提供

熊本地震により被害を受け解体予定の国家公務員宿舎を利用して、破損した杭の補修・補強のための地盤改良技術を実証実験。

### 概要

- 熊本地震により公務員宿舎に被害。  
傾斜した3棟 → 解体を決定。
  - 掘削調査により基礎杭の破損を確認。
- 国土交通省国土技術政策総合研究所に公務員宿舎を提供。
  - 破損した杭の補修・補強のための地盤改良技術の実証実験に使用。



(傾斜した住宅)



(破損した杭)

#### 実験概要

- ・被災建物を使用し地盤改良技術の有効性の実証実験。
- ・現実に近い想定実験を実現。
- ・破損杭の外周に高圧噴射により地盤改良体を築造し、破損した杭を補修・補強。
- ・当該工法は従前工法比1/3～1/4程度の費用。

### 取組の成果と今後の展開

- 取組の成果
  - 工法・技術の確立に向けて、被災建物を使用した貴重なデータを蓄積。
  - 建築技術関係者に実験現場や実験成果を公開したことにより、技術を周知、実験データを共有。



(実験成果説明会の様子)



(現場見学の様子)

- 今後の展開  
実験成果により工法・技術の確立に向け前進
  - ➔ 建物を解体せず継続利用可能となるなど、補修・復旧法の選択肢が増加
  - ➔ 社会資本整備や震災後の迅速な復興につながることを期待。